

本校における熱中症予防対策

保健部

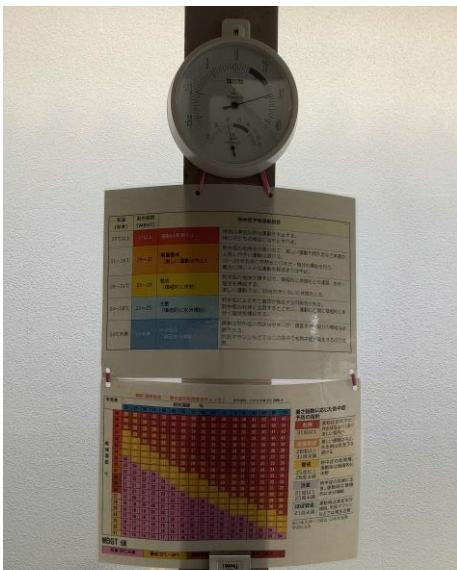


梅雨に入る前から、日中30℃を超えるような暑さの日も増えてきました。
安全な教育活動を行うために、本校では様々な熱中症予防対策を行っています。

○校舎の温湿度計

場所によって気温や湿度が異なるため、教室、体育館、校舎、プールなど様々な場所に温湿度計を設置しています。

園庭での部活動や、外での活動では教職員が温湿度計を持って行き、適宜測定し、活動内容を決めています。



○朝8:30、授業や様々な活動前に温湿度計で測定しています。暑さ指数(WBGT)を確認して、指数に応じた対応を行っています。

○前日、当日に発表される環境省の熱中症警戒アラート・熱中症特別警戒アラートを確認し、教職員に周知を図ることで、前もって活動内容を検討しています。



○活動中も温湿度計を確認し、子どもたちの様子もみながら、適宜、活動内容を変更するなどして対応しています。

○中庭のプールには毎朝、小学部の職員で日よけを設置しています。直射日光を避けながら、プールに入ることができます。



○全教室、特別教室、廊下にもエアコンが設置されています。

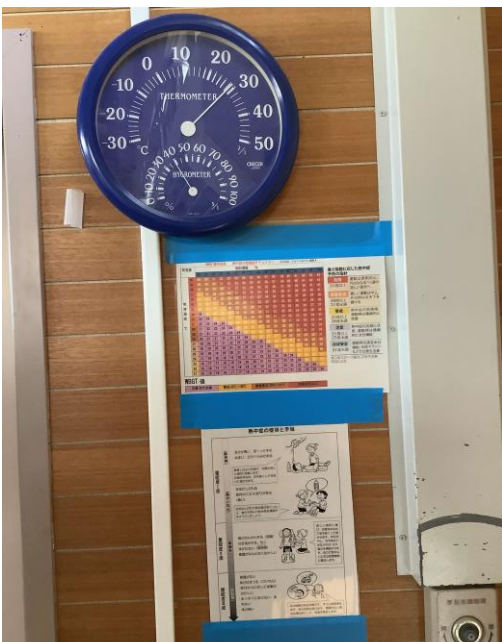


実習中の約束
水分補給をしっかりしましょう。
体調が悪くなったら周りの先生へ声を掛けてください。

○活動中もこまめな水分補給をとるように呼び掛けています。



○体育館には通常の扇風機の他に、大型の扇風機も設置されています。



○運動する体育館では温湿度計の下に
応急処置法も掲示しています。

暑熱順化の必要もあるため、朝の気温の低い時間帯に外の活動やトレーニング等を行うようにしていますが、暑さ指数が高い時には、自活室や視聴覚室など、空調設備がある場所での運動を行うなどして、子どもたちの運動時間を確保しています。

保健室では経口補水液や氷、保冷剤等を準備し、熱中症の疑いがある児童生徒の対応にあたっています。

夏本番にむけて、教職員一丸となり、児童生徒が安全安心な学校生活を送ることができるように取り組んでまいります。

